

仙台湾南部海岸 堤防復旧着工式の開催



平成24年1月29日(日)、名取市の北釜海岸で、堤防復旧着工式が行われました。宮城県知事をはじめ、岩沼市長、山元町長、名取市長など沿岸市町の首長や国会議員の方々が来賓として多数出席してくださいました。

前田国土交通大臣(関水管理・国土保全局長が代理)、村井宮城県知事、佐々木名取市長の挨拶を頂戴した後、地元選出の国会議員の方々からご祝辞を頂き、来賓の方々による鍬入れを行いました。

続いて、桜田仙台河川国道事務所長の工事号令のもと、中村仙台海岸出張所長の指揮によるダンプトラックとブルドーザーの土砂敷均作業が行われました。

さらに、名取市の名取雀蓮&すずめっ子によるすずめ踊り、岩沼市潮騒太鼓子供クラブによる太鼓演奏が披露されました。軽快な踊りと、力強い太鼓のリズムは、着工式典を大いに盛り上げてくれました。



国土交通省施工区間

平成12年から、海岸侵食の著しい岩沼市の蒲崎海岸と山元町の山元海岸を国の直轄海岸区間として堤防の建設と侵食対策工事を実施してきました。

しかし、昨年の大津波により仙台湾南部海岸一帯も堤防が全半壊するという甚大な被害を受けたため、宮城県からの代行工事の要請を受け、^{※2}仙台海岸・名取海岸・岩沼海岸（二ノ倉海岸）も国で復旧工事を行うことになりました。

※1右図の赤矢印区間

※2右図の青矢印区間

平成23年度の緊急復旧工事

昨年4月には、直轄区間の山元海岸6件、蒲崎海岸5件の緊急復旧工事に着手し、その後仙台海岸3件、名取海岸3件、二ノ倉海岸4件、計21件を緊急復旧工事を実施しました。

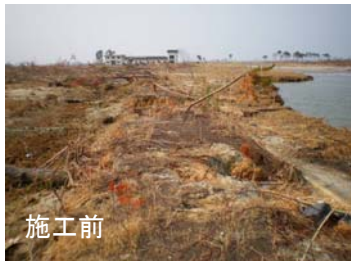
緊急復旧工事は、高潮による海水の進入防止や海浜の侵食防止対策として標高2mの高さを確保する工事をステップ1（工期6月末）、波浪・高波対策として5mの高さを確保するステップ2（工期8月末）の二段階で実施しました。

ステップ1とステップ2をあわせた総延長は、約20kmになります。



【中浜海岸・・・高潮対策として、沿岸域を浸水から守るための仮設堤防】

【蒲崎海岸・・・大型土嚢を使って施工した波浪・高波対策の仮設堤防】



（仙台海岸 深沼地区）

（岩沼海岸 相の釜地区）



編集後記

いよいよ本格的な復旧工事に着手します。全区間の工事を概ね5ヶ年での完了を目標にしています。地域の皆様のご期待に添えるよう、一日も早い復旧を目指し、今後も工事を推進して参りますので、復旧工事へのご理解とご協力をお願いいたします。



次号掲載予定記事

- * 本復旧工事の概要
- * 本復旧工事の契約状況

かいりゅうばVol.40は3月下旬発行予定です。